

インサート型パルスドキセノンランプ

参考出品

光の当りづらい深型や細口の容器の内面にも ドライ殺菌を実現します

<照射イメージ>



特長

■ 容器の奥の黒カビも瞬時にドライ殺菌が可能

従来の表面殺菌装置では深型や細口の容器の内面には光が当たりづらく、紫外線による殺菌は困難でしたが、新開発のコンパクト且つ高出力なパルスドキセノンランプにより、ドライ殺菌を実現します。

■ 立上げ及び待機発光不要

瞬時点灯が可能であるため、立上げの待ち時間や待機中の連続点灯が不要です。

■ ワークへの影響がほぼ無し

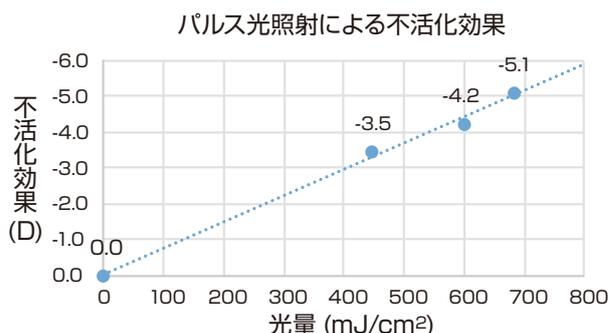
短時間の処理のためワークの熱変形や紫外線による臭気の発生を抑制します。

プリフォーム内面の殺菌テスト結果

試験方法：プリフォーム内面に菌液をスプレー噴霧し、内部挿入したランプをパルス発光させて不活化効果を確認
不活化効果=log(パルス光照射後の生菌数/未照射の生菌数)

供試菌：黒麹カビ(JCM2261)

条件	照射光量 (mJ/cm ²)	光量比	生菌数 (個)	不活化効果 (D)
未照射	0	0	1,593,333	0.0
照射条件①	444	1	590	-3.5
照射条件②	602	1.3	94	-4.2
照射条件③	682	1.5	13	-5.1



※当該ランプは試作品のため、上記テスト結果は暫定です